

野村米国ブランド株投資(米ドルコース) 年2回決算型

追加型投信／海外／株式

交付運用報告書

第23期(決算日2025年8月18日)

作成対象期間(2025年2月18日～2025年8月18日)

第23期末(2025年8月18日)	
基 準 価 額	57,495円
純 資 産 総 額	14,637百万円
第23期	
騰 落 率	△0.8%
分配金(税込み)合計	10円

(注) 謄落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供することができる旨を定めております。運用報告書(全体版)は、野村アセットマネジメントのホームページで閲覧・ダウンロードしていただけます。
○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
右記ホームページを開く

⇒「ファンド検索」にファンド名を入力しファンドを選択
⇒ファンド詳細ページから「運用報告書(全体版)」を選択

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、ノムラ・カレンシー・ファンドーUSグロース・エクイティ・ファンドー米ドルクラス受益証券および野村マネー マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として米国の金融商品取引所に上場している企業の株式に実質的に投資を行ない、高水準のインカムゲインの確保と信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。

ここに、当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

野村アセットマネジメント株式会社

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

●サポートダイヤル

0120-753104 (受付時間) 営業日の午前9時～午後5時

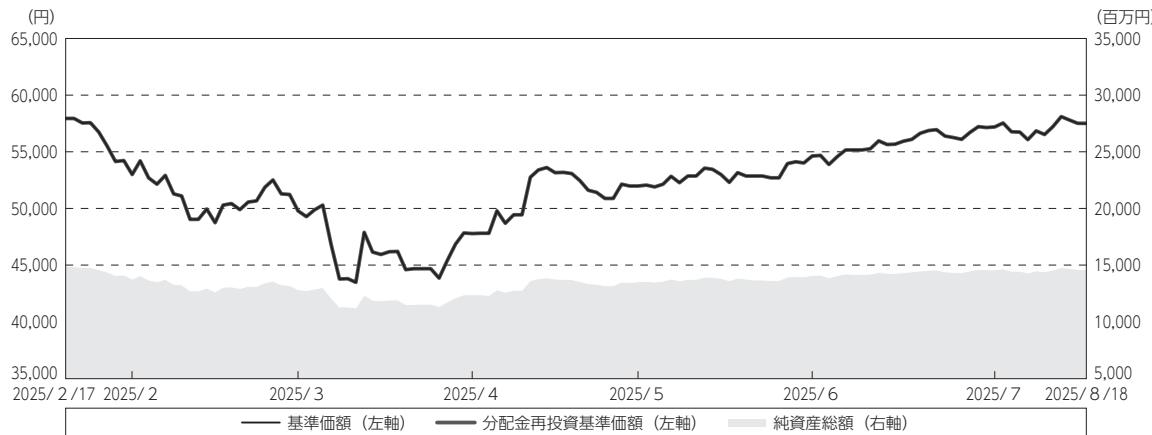
●ホームページ

<https://www.nomura-am.co.jp/>

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2025年2月18日～2025年8月18日)



期 首：57,940円

期 末：57,495円（既払分配金（税込み）：10円）

騰落率：△0.8%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2025年2月17日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

- ・実質的に投資している米国株式（米国ブランド株）からのインカムゲイン（配当収入）
- ・実質的に投資している米国株式（米国ブランド株）からのキャピタルゲイン（またはロス）（価格変動損益）
- ・円／米ドルの為替変動

1万口当たりの費用明細

(2025年2月18日～2025年8月18日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬 （投信会社） （販売会社） （受託会社）	円 267 (101) (158) (9)	% 0.510 (0.192) (0.302) (0.016)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等 ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) その他費用 （監査費用）	1 (1)	0.002 (0.002)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合計	268	0.512	
期中の平均基準価額は、52,395円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

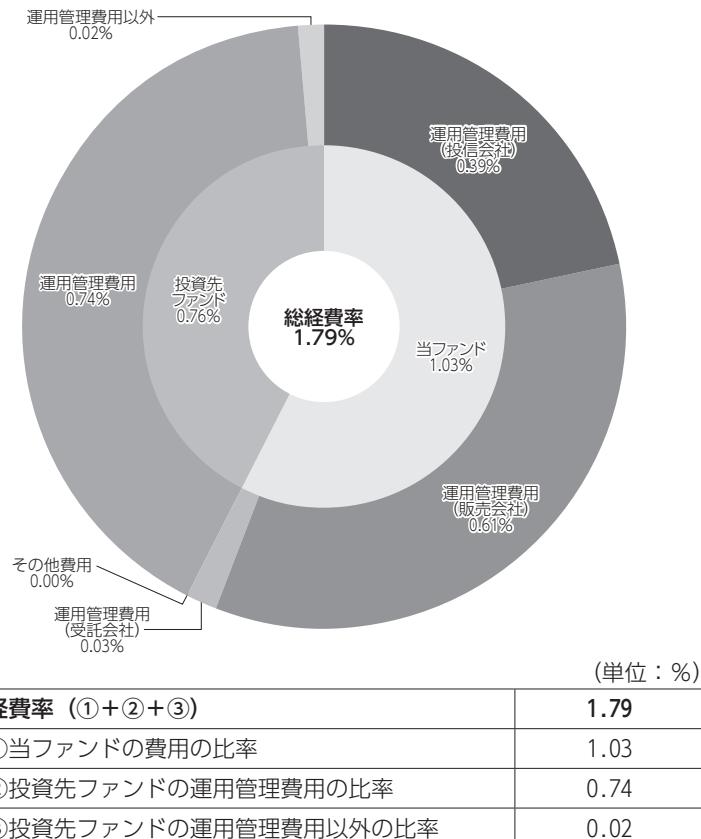
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しております。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.79%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券等（マザーファンドを除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドのその他費用には、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用が含まれます。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドの純資産総額等によっては、投資先ファンドの運用管理費用以外の比率が高まる場合があります。

(注) 投資先ファンドの費用は、交付運用報告書作成時点において、委託会社が知りうる情報をもとに作成しています。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2020年8月17日～2025年8月18日)



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。2020年8月17日の値が基準価額と同一となるように指標化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

	2020年8月17日 決算日	2021年8月17日 決算日	2022年8月17日 決算日	2023年8月17日 決算日	2024年8月19日 決算日	2025年8月18日 決算日
基準価額 (円)	23,684	32,748	33,427	37,959	51,135	57,495
期間分配金合計(税込み) (円)	—	20	20	20	20	20
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	38.4	2.1	13.6	34.8	12.5
純資産総額 (百万円)	7,863	10,034	10,616	11,049	13,686	14,637

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 謄落率は1年前の決算応当日との比較です。

(注) 当ファンドは、主として外国籍ファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

投資環境

(2025年2月18日～2025年8月18日)

・米国株式市場

当作成期間中の米国株式市場は上昇しました。当作成期初から4月上旬にかけては、トランプ大統領の関税政策の動向や景気減速懸念などから大きく下落しました。その後は各種経済指標の結果や関税交渉を巡る不透明感が後退したこと、イスラエルとiranの停戦合意が発表され中東情勢への懸念が和らいだことなどから上昇基調で推移しました。

当ファンドのポートフォリオ

(2025年2月18日～2025年8月18日)

[野村米国ブランド株投資（米ドルコース）年2回決算型]

[ノムラ・カレンシー・ファンド-USグロース・エクイティ・ファンド-米ドルクラス] 受益証券および [野村マネー マザーファンド] 受益証券を主要投資対象とし、投資の中心とする [ノムラ・カレンシー・ファンド-USグロース・エクイティ・ファンド-米ドルクラス] 受益証券への投資比率を概ね90%以上に維持しました。

[ノムラ・カレンシー・ファンド-USグロース・エクイティ・ファンド-米ドルクラス]

米国の金融商品取引所に上場している企業の株式を中心に投資しました。

[野村マネー マザーファンド]

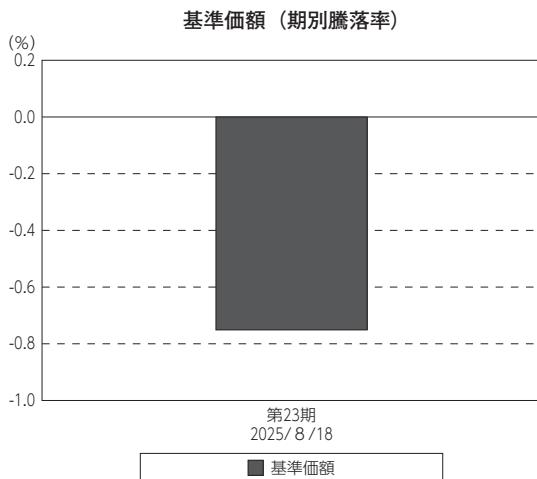
残存1年以内の公社債等（現先取引も含む）やコール・ローン等で運用を行なうことで、安定した収益と流動性の確保を図りました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2025年2月18日～2025年8月18日)

当ファンドは、主として外国籍ファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

分配金

(2025年2月18日～2025年8月18日)

収益分配金については、利子・配当等収入、信託報酬などの諸経費を勘案して分配を行ないました。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項目	第23期	
	2025年2月18日～2025年8月18日	
当期分配金	10	
(対基準価額比率)	0.017%	
当期の収益	—	
当期の収益以外	10	
翌期繰越分配対象額	47,495	

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの收益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

[野村米国ブランド株投資（米ドルコース）年2回決算型]

【ノムラ・カレンシー・ファンドーUSグロース・エクイティ・ファンドー米ドルクラス】 受益証券および【野村マネー マザーファンド】 受益証券を主要投資対象とし、投資の中心とする【ノムラ・カレンシー・ファンドーUSグロース・エクイティ・ファンドー米ドルクラス】 受益証券への投資比率を概ね90%以上に維持します。

[ノムラ・カレンシー・ファンドーUSグロース・エクイティ・ファンドー米ドルクラス]

米国の金融商品取引所に上場している企業の株式を主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。

米国経済は、個人消費などが伸び悩み、今後は下押しする可能性が高まっています。物価全体は落ちていますが、今後は関税引き上げの影響による上昇が懸念されます。7月のFOMC（米連邦公開市場委員会）では、メンバー間で見解の相違がみられ今後の金融政策については不確実性が高まっており、引き続き消費や金融政策の動向には注視が必要です。ファンドは、個別銘柄のファンダメンタルズ（基礎的条件）分析に注力し、持続的な成長が期待できる企業に投資してまいります。引き続き慎重に企業選別を行ないながら、グローバルに事業を展開し、健全なバランスシートや高い競争力を有する企業に投資をしていく方針です。

当ファンドは証拠金規制に則り、規制対象取引の評価損益について取引の相手方と証拠金の授受を行なう場合があります。

[野村マネー マザーファンド]

残存1年以内の公社債等（現先取引も含む）やコール・ローン等で運用を行なうことで、安定した収益と流動性の確保を図ります。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願ひいたします。

お知らせ

「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正に伴い、運用報告書の電子交付に関する条文を変更する所要の約款変更を行ないました。

＜変更適用日：2025年4月1日＞

当ファンドの概要

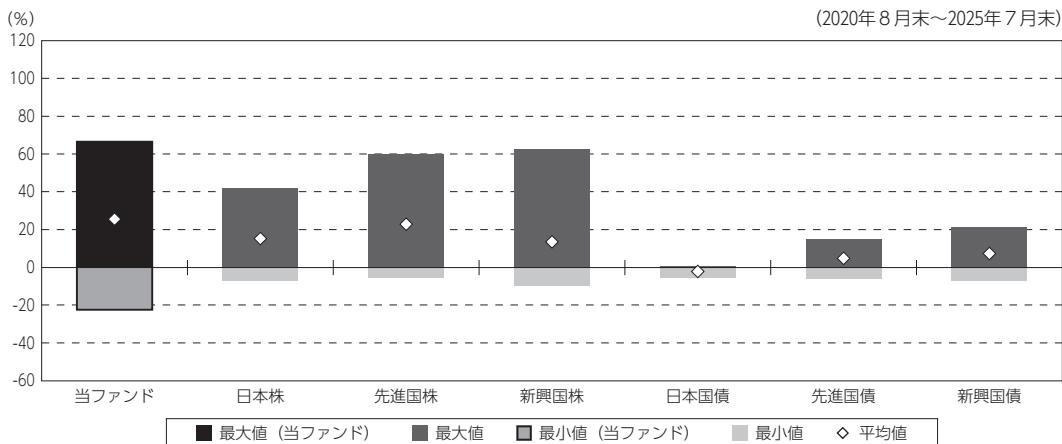
商品分類	追加型投信／海外／株式						
信託期間	2014年5月12日以降、無期限とします。						
運用方針	円建ての外国投資信託であるノムラ・カレンシー・ファンド-USグロース・エクイティ・ファンド-米ドルクラス受益証券および円建ての国内籍の投資信託である野村マネーマザーファンド受益証券を主要投資対象とし、高水準のインカムゲインの確保と信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。各受益証券への投資比率は、通常の状況においては、ノムラ・カレンシー・ファンド-USグロース・エクイティ・ファンド-米ドルクラス受益証券への投資を中心としますが、特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびに当ファンドの資金動向等を勘案のうえ決定します。						
主要投資対象	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">野村米国ブランド株投資 (米ドルコース) 年2回決算型</td> <td>ノムラ・カレンシー・ファンド-USグロース・エクイティ・ファンド-米ドルクラス受益証券および野村マネーマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、コマーシャル・ペーパー等の短期有価証券ならびに短期金融商品等に直接投資する場合があります。</td> </tr> <tr> <td>ノムラ・カレンシー・ファンド-USグロース・エクイティ・ファンド-米ドルクラス</td> <td>米国の金融商品取引所に上場している企業の株式を主要投資対象とします。</td> </tr> <tr> <td>野村マネーマザーファンド</td> <td>本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とします。</td> </tr> </table>	野村米国ブランド株投資 (米ドルコース) 年2回決算型	ノムラ・カレンシー・ファンド-USグロース・エクイティ・ファンド-米ドルクラス受益証券および野村マネーマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、コマーシャル・ペーパー等の短期有価証券ならびに短期金融商品等に直接投資する場合があります。	ノムラ・カレンシー・ファンド-USグロース・エクイティ・ファンド-米ドルクラス	米国の金融商品取引所に上場している企業の株式を主要投資対象とします。	野村マネーマザーファンド	本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とします。
野村米国ブランド株投資 (米ドルコース) 年2回決算型	ノムラ・カレンシー・ファンド-USグロース・エクイティ・ファンド-米ドルクラス受益証券および野村マネーマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、コマーシャル・ペーパー等の短期有価証券ならびに短期金融商品等に直接投資する場合があります。						
ノムラ・カレンシー・ファンド-USグロース・エクイティ・ファンド-米ドルクラス	米国の金融商品取引所に上場している企業の株式を主要投資対象とします。						
野村マネーマザーファンド	本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とします。						
運用方法	ノムラ・カレンシー・ファンド-USグロース・エクイティ・ファンド-米ドルクラス受益証券および野村マネーマザーファンド受益証券への投資を通じて、主として米国の金融商品取引所に上場している企業の株式に実質的に投資を行ない、高水準のインカムゲインの確保と信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうこととします。						
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等から、基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。						

※店頭デリバティブ取引に関する国際的な規制強化について

店頭デリバティブ取引等の金融取引に関して、国際的に規制の強化が行なわれており、ファンドが実質的に活用する当該金融取引が当該規制強化等の影響をうけ、当該金融取引を行なうための担保として現金等を提供する必要がある場合があります。その場合、追加的に現金等を保有するため、ファンドの実質的な主要投資対象の組入比率が下がり、高位に組入れた場合に期待される投資効果が得られないことが想定されます。また、その結果として、実質的な主要投資対象を高位に組入れた場合と比べてファンドのパフォーマンスが悪化する場合があります。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位：%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	66.5	42.1	59.8	62.7	0.6	15.3	21.5
最小値	△ 22.4	△ 7.1	△ 5.8	△ 9.7	△ 5.5	△ 6.1	△ 7.0
平均値	25.5	15.2	22.9	13.4	△ 2.1	4.8	7.3

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2020年8月から2025年7月の5年間の各月末における1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《代表的な資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCI-KOKUSAI指数（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

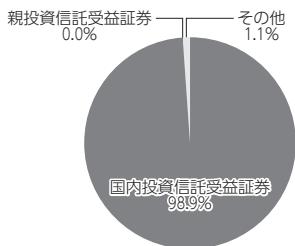
組入資産の内容

(2025年8月18日現在)

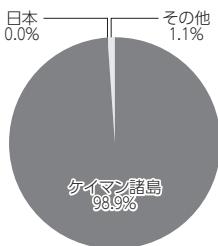
○組入上位ファンド

銘柄名	第23期末
ノムラ・カレンシー・ファンド-USグロース・エクイティ・ファンド-米ドルクラス	% 98.9
野村マネー マザーファンド	0.0
組入銘柄数	2銘柄

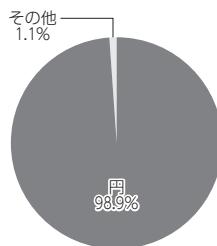
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注) 国別配分は、原則として発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等は、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

(注) 国内投資信託受益証券には外国籍（邦貨建）の受益証券を含めております。

純資産等

項目	第23期末
	2025年8月18日
純資産総額	14,637,498,041円
受益権総口数	2,545,854,993口
1万口当たり基準価額	57,495円

(注) 期中における追加設定元本額は156,193,264円、同解約元本額は179,048,613円です。

組入上位ファンドの概要

ノムラ・カレンシー・ファンドーUSグロース・エクイティ・ファンドー米ドルクラス

作成時点において、入手可能な直前計算期間の年次報告書をもとに作成いたしております。
運用経過等に関する詳細な内容につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

【純資産価格の推移】

(2023年7月1日～2024年6月30日)



【1万口当たりの費用明細】

(2023年7月1日～2024年6月30日)

当該期間の1万口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

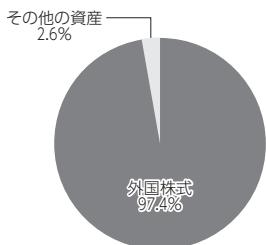
(注) 分配金を分配時に再投資したものとして計算しております。

【組入上位10銘柄】

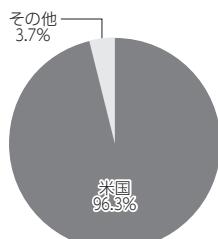
(2024年6月30日現在)

	銘柄名	業種／種別等	通貨	国(地域)	比率
1	ALPHABET INC A	コミュニケーション・サービス	米ドル	米国	9.1%
2	APPLE INC	情報技術	米ドル	米国	8.7%
3	NVIDIA CORP	情報技術	米ドル	米国	8.3%
4	MICROSOFT CORP	情報技術	米ドル	米国	7.8%
5	AMAZON.COM INC	一般消費財・サービス	米ドル	米国	7.1%
6	APPLIED MATERIALS INC	情報技術	米ドル	米国	3.6%
7	MASTERCARD INC CLASS A	金融	米ドル	米国	3.4%
8	META PLATFORMS-A	コミュニケーション・サービス	米ドル	米国	3.3%
9	ELI LILLY & CO	ヘルスケア	米ドル	米国	2.9%
10	CHIPOTLE MEXICAN GRILL INC	一般消費財・サービス	米ドル	米国	2.4%
組入銘柄数			60銘柄		

【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注) 国(地域)および国別配分は、原則として発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等は、運用報告書（全体版）に記載しております。

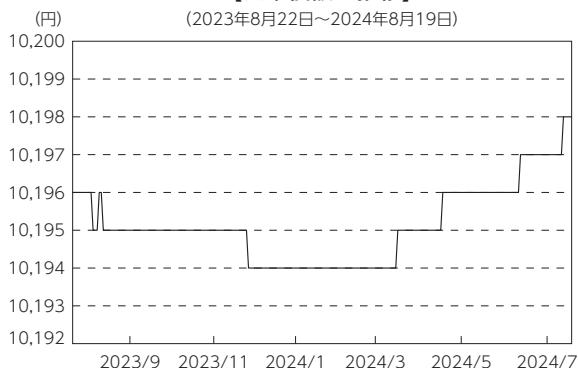
(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

野村マネー マザーファンド

運用経過等に関する詳細な内容につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

【基準価額の推移】

(2023年8月22日～2024年8月19日)



【1万口当たりの費用明細】

(2023年8月22日～2024年8月19日)

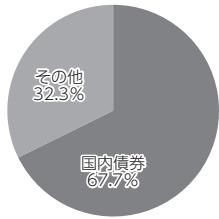
該当事項はございません。

【組入上位10銘柄】

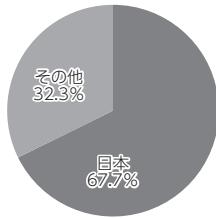
(2024年8月19日現在)

	銘柄名	業種 / 種別等	通貨	国(地域)	比率 %
1	国債バスケット(変動利付・利付・国庫短期証券)	国債(現先)	円	日本	61.5
2	日本高速道路保有・債務返済機構債券 政府保証債第229回	特殊債	円	日本	2.3
3	相模原市 公募平成26年度第1回	地方債	円	日本	2.3
4	日本高速道路保有・債務返済機構債券 政府保証債第225回	特殊債	円	日本	1.5
5	—	—	—	—	—
6	—	—	—	—	—
7	—	—	—	—	—
8	—	—	—	—	—
9	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—
組入銘柄数		4銘柄			

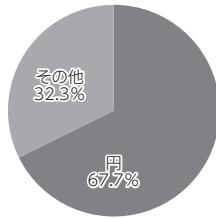
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。

(注) 国(地域)および国別配分は、原則として発行国(地域)もしくは投資国(地域)を表示しております。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等は、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指標について＞

○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

配当込みTOPIX（「東証株価指数（TOPIX）（配当込み）」といいます。）の指標値及び東証株価指数（TOPIX）（配当込み）に係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」といいます。）の知的財産であり、指標の算出、指標値の公表、利用など東証株価指数（TOPIX）（配当込み）に関するすべての権利・ノウハウ及び東証株価指数（TOPIX）（配当込み）に係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、東証株価指数（TOPIX）（配当込み）の指標値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。本商品は、JPXにより提供、保証又は販売されるものではなく、本商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません。

○MSCI-KOKUSAI指数（配当込み、円ベース）

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI指数（配当込み、円ベース）、MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCIが開発した指標です。同指標に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指標の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

○NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債の知的財産権は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社は、NOMURA-BPI国債の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、NOMURA-BPI国債を用いて行なわれる野村アセットマネジメント株式会社の事業活動、サービスに関しき切責任を負いません。

○FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指標はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指標に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

「JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）」（ここでは「指標」とよびます）についてここに提供された情報は、指標のレベルも含め、但しそれに限定することなく、情報としてのみ使用されるものであり、金融商品の売買を勧誘、何らかの売買の公式なコンファーメーション、或いは指標に関する何らかの商品の価値や値段を決めるものではありません。また、投資戦略や税金における会計アドバイスを法的に推奨するものではありません。ここに含まれる市場価格、データ、その他の情報は確かなものと考えられますが、JPMorgan Chase & Co. 及びその子会社（以下、JPM）がその完全性や正確性を保証するものではありません。含まれる情報は通知なしに変更されることがあります。過去のパフォーマンスは将来のリターンを示唆するものではありません。本資料に含まれる発行体の金融商品について、JPMやその従業員がロング・ショート両方を含めてポジションを持ったり、売買を行なったり、またはマーケットメークを行なったりすることがあり、また、発行体の引受け人、プレースメント・エージェンシー、アドバイザー、または貸主になっている可能性もあります。米国のJ.P. Morgan Securities LLC（ここでは「JPMSLLC」と呼びます）（「指標スponサー」）は、指標に関する証券、金融商品または取引（ここでは「プロダクト」と呼びます）についての援助、保障または販売促進を行ないません。証券或いは金融商品全般、或いは特にプロダクトへの投資の推奨について、また金融市場における投資機会を指標に連動させる或いはそれを目的とする推奨の可否について、指標スponサーは一切の表明または保証、或いは伝達または示唆を行なうものではありません。指標スponサーはプロダクトについての管理、マーケティング、トレーディングに関する義務または法的責任を負いません。指標は信用できると考えられる情報によって算出されていますが、その完全性や正確性、また指標に付随する情報について保証するものではありません。指標は指標スponサーが保有する財産であり、その財産権はすべて指標スponサーに帰属します。

JPMSLLCはNASD、NYSE、SIPCの会員です。JPMorganはJP Morgan Chase Bank, NA, JPSI, J.P. Morgan Securities PLC.、またはその関係会社が投資銀行業務を行なう際に使用する名称です。

（出所：株式会社野村総合研究所、FTSE Fixed Income LLC 他）